

Flieger

妖精さんを

つかまえた♡

前編



FOR ADULTS

ピクシーという妖精族が存在する

20〜25cm程度の体長で後背部の羽根を除けばヒト型哺乳類に似た容姿を持つ。
主に野花の広がる肥沃な地を飛び回り、採取した花蜜を醸成する。

彼らの醸成するそれは花の種類によって様々な風味が展開されているが、その何れも質が良く！

エルフ種の間では嗜好品、または保湿目的などに用いるために高値で取引されている。

またピクシーは雑食性でもあり、エルフの調理する旨味のある料理目的の為にかれらの家を訪れ自ら交換を要望するというような光景も珍しくない。

こんにちは
お邪魔します

いらっしやい

ねえグウェ
ストーンさん

さて、ここに好奇心旺盛なフェレニースという少女がいた。

私たちのお花畑はどこにあるの？



僕たちはこの辺に住んでいるんだよ
小さすぎて
わからないかな？

ここサレオンは
帝国のヘルセデス
フォールトという
領土の中にあつて

世界地図には載らない
ほどの小さな街なんだ
きみ達の花畑もこの辺

ええっ！
そんなに小さいの！？

ああ、でも君たちの仲間は
この帝国以外にもいるよ
たとえば西の海を挟んだ
このパロージュ王国とか

そんな所に？

はは、世界は広い
だろう、この大陸
の殆どが帝国領
なんだよ

ここが世界の
全てだと思ってたわ

彼女はハイエルフ付呪師の
青年グウエストンを気にと
入っており、日々かれの
家の窓から顔をのぞかせ
ていた。

その南にあるザールや
帝国と赤道を挟んだ
亜熱帯のテリリエン地方
なんかにもね
よほど寒いところでも
なければ沢山いるよ

ねえねえこのすっごく
遠そうな場所にも
私たちの仲間は住んで
いるのかしら？

いや…そこでは
目にしたことが
ないな

そこはファルゴ
という大陸で
ドワーフたちの王国が
幾つか存在しているんだ

ぞわーふ??
それはなに？

ドワーフはエルフ達と
違って、魔術の術式が
理解できずに使うことが
できないんだ

それ故に、機械や
道具によつて文明
を発展せざるを得
なかつたんだ

術式に頼らない方法で
インフラを整え機械を
動かすにはそれなりに
自然を開拓しなきゃならない
そしてそのような環境下で
彼らは生活している

つまり君たちの暮らす
ような花畑は全くではないけど
多くは存在しない
これはビクシーが生活しづらい
環境ということなんだ



今ある仲間たちとの暮らしを大切にしないさい

見知らぬ土地に行くというのは誰にでも危険が伴うものだ

いじわるなの?!
なんじゃこりなの?!

海の方こうで暮らしているであろう同胞たちに思いを馳せた。

ドーンゾルヴァに納品するこれで全部か?

サレオンの花畑の外を知らぬ少女にとって外的世界はあまりにも魅力的に映り

ヘルセスフォールトノーゼガルク港



ただ…その北の大陸にはひよっとしたら存在しないね

その昔そこには人間という生物がいてドワーフのように発展したけど古代エルフとの戦争で絶滅してしまったから今は美しい野生動物の宝庫さ



ねえグウェストンさん私この大陸に行ってみたくなったわ!

ええ…

その小さな体で大海原を渡るののは難しいと思うよ…

こくさいほ…なにそれ???

それは…生態系保護の観点から全世界共通の協定で君たちのような生物は外国に持ち込んではならないという国際法規に従わなければならないからとても難しいことなんだよ

え……つと、まあ大人の事情ってやつさ無理なものは無理なんだ

じゃああなたが連れて行ってよ♡



はは

まあエネルギーの殆どは有限なものだしそれが常だから



ドワーフの奴ら発電技術の発展に精を注いでいるみたいだが

結局のところ動力のコアはまだ我々の付託品に頼るところか



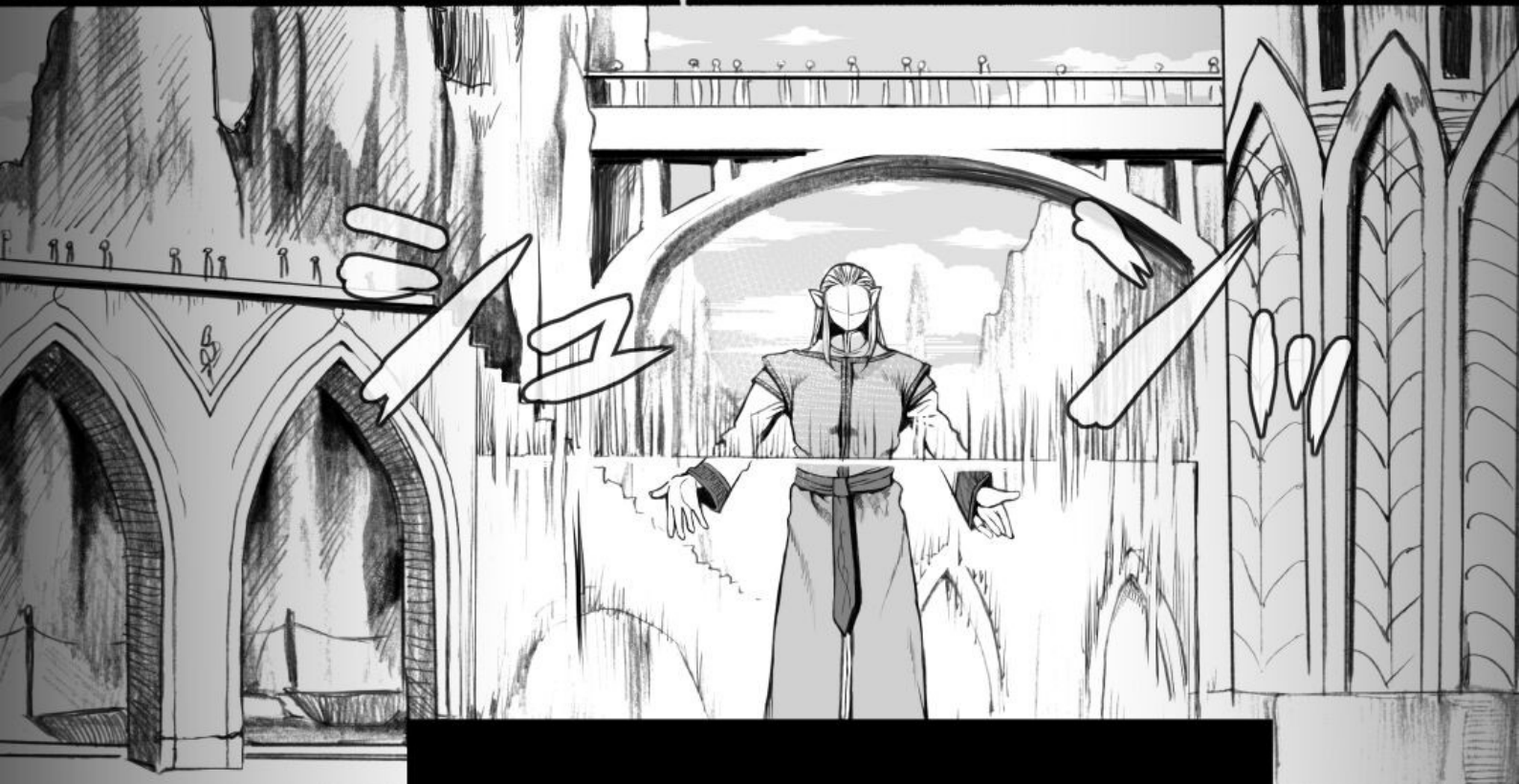
ズン

では今からこれを
ドーンゾルヴァ・
レイラグ港ドーンヴェク
八番に転送する



帝国に目を
付けられなきや
いいけど

まあそのおかげでこうして
副業でずいぶん稼がせて
もらっているわけだけどもね
僕にとってはあいつらは
超お得意様みたいなもの
でもあるんだ



ニ
ユ

ニ
ユ



ラツク
いるかい

キニ
イ

ラツク

イ
イ
イ
イ
イ



ああ
母さん

おや

あんたのお友達
が来てるよ
ふもとに出て鉱山に
遊びに行くって
言ってるけど



今新しいアイデアの
設計を基に試作してさ
ちよつと手が離せない
んだよね
一時間後ぐらいに
直接鉱山に行くから
現地でお話してくれない？

そうかいよ
わかったよ



ふふ……
く……く……く……

遊ぶお世話は前ペット
おかない話ね♡



本当だよ
あの面倒臭がりに
ラックがあんなに
真面目なんだ

このところの
あいっときたら
見違えるように
勤勉になつたな
何がわかんない
かはわかんない



将来はあんたに似た
よれる技師になつて
ねえ



さてさて
今日で五日目か

この世の子供たちに
友達とくだらない遊びを
するよりもっとずっと面白い
ことがあるって教えてあげたい
気分だよ♪

キ

さアて…



ただいま♥
そろそろちゃんとして
反省したかな？

僕の可愛い
妖精ちゃんい♥

ふー…
ふー…
ふー…



僕に逆らったらどーなるか想像しよー？

ちゃんと反省してるのかなあ？このドジっ子妖精さんめツ☆



五日前はよくも逃げ出そうとしてくれたよねえ

羽根のあるきみを捕まえるの本当は大変だったんだからね わかってんの？



ま...でも

何日もこの状態で放置されりやイヤでも身に染みて理解できたとは思うけどね...



おま○この中にきみ専用のパイプを突っ込んで拘束されたままの状態です
自隠しをされたまま五日間スイッチを二度もお入れられずに僕の気まぐれでおっぱいの先っぽが弄られて

すぐにイけちゃう体になってるのに全然イかせてもらえなくて
すっごく頭悪そうにふみゅっ♡ふみゅんっ♡なんて馬鹿みたいに鳴いちゃって

ふみゅんっ♡

ふみゅんっ♡

ふみゅんっ♡

ふみゅんっ♡

ふみゅんっ♡

ふみゅんっ♡

もしもし
グウェストン

何だい



その納品先なん
だがレイラグ港
一〇番地ではなく
〇〇番地に変更して
おいてくれ

ああ
了解した

れくらぐ港って
なあに？
そのにもつを
おくるの??

ああドーンソルヴァ
王国の玄関口である
港町のことだよ



この前君と世界
地図を見た時に
教えたドワーフの
大陸へ送るんだ



このまき

膨れに膨れ上がったに
好奇心を止められずに
グイェストニースは
つげを守らず

何を考えたかかれが
転送する荷物に自ら
紛れ込み
符呪品共々ファルグー
へと転送されてしまった
のだった。



荷物の転送先は
ドワーフ種の王国の
一ツドーンソルヴァ

人工的な石畳と
はげ山が広がる土地

見たこともない
機械が町中を
闊歩する
未知の世界が
広がっていた。

見るものすべてが
フエレニースには
新鮮で警戒なく
迎いを飛び回った。



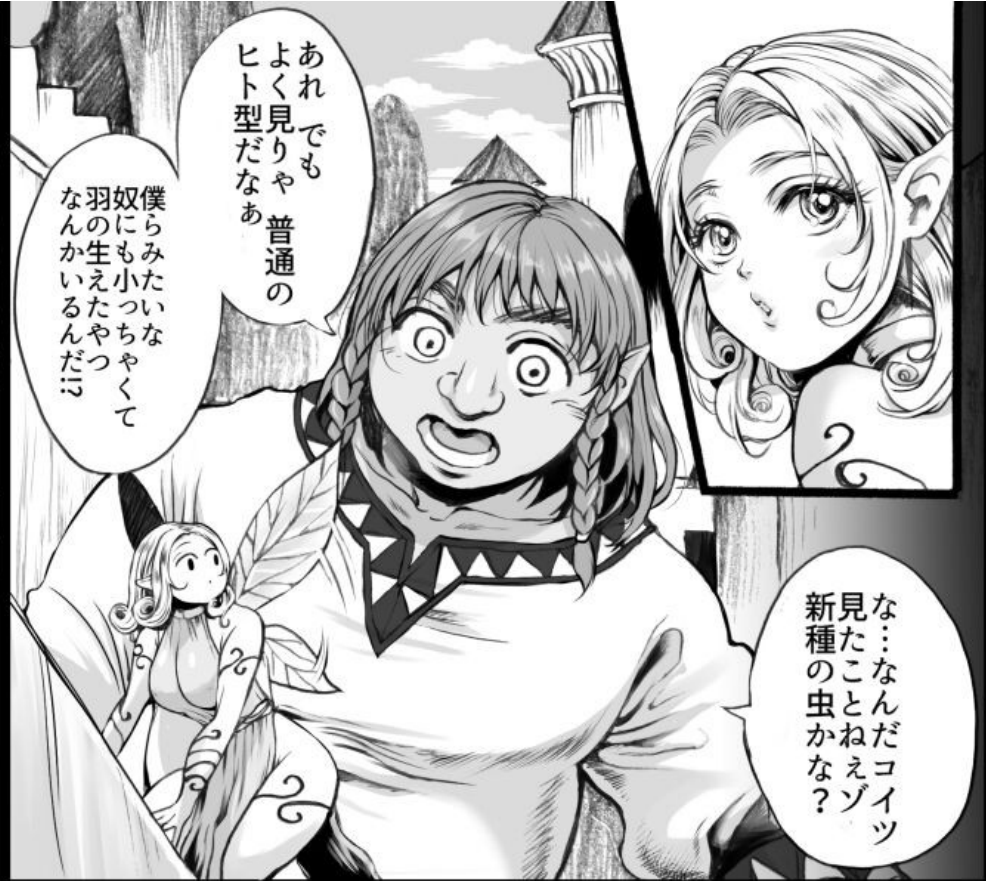
しゅわん



こんにちはは
はじめまして!!

もしかして
あなたは
どわーふさん
??

うわっつ
なんか喋った
し



あれでも
よく見りや 普通の
ヒト型だなあ

僕らみたいなの
奴にも小っちゃくて
羽の生えたやつ
なんかいるんだ

な...なんだコイツ
見たことねえゾ
新種の虫かな?



きゃん
んんんん

ぱたぱたと羽を
はたかせる
愛らしい妖精に
何の警戒心も
なく見つけた
られた少年は



な...何喋ってるか
さっぱりわかん
ないけど...

よく見たら
可愛いな...



考えるよりも先に
彼女を捕らえ
帰路についたのだった



んんんん



こんな可愛い妖精さんがいたら捕まえないわけにはいかないよねえ!!

ぜったいにやまなにいんだから♡!!

愛らしく、しかし豊満なフェレニースの肢体が思春期の少年の興奮を誘うには十分すぎた。



お帰りラック今日は道草しなかったのいいね

た：ただいま宿題が多すぎて早く終わらせてようと思ってる

ああそうかいわかったよ頑張りな



はあ♡はあ♡

みちくさくってる場合なんかじゃあないよねえ!!



邪魔なものは取っ払ってあげよう♡



いん♡なんかに凄いいお花の香りがするケドどっから来たの? エルフの奴らがいる? 国に住んでるとか?

てっすんさん助けてやめグウ

あつはは! 何言ってるかわかんないや☆わかんないや



ごめんね
怖がらせちゃ
ったねえ♡

そんなに泣かないでよ
酷いことは絶対に
しないからさ♡♡

やあ

なまのうま
やあ♡♡

ゼンツ

ひいっ!

んんっ♡妖精さんの身体
どこもかしこもピンク色で
甘あつい♡



おおっと!逃げ
ようとしても
無駄だよ♡

やだあ

ああっコラコラ
そんなに暴れ
ないでよ!

これからは僕が
きみのお世話を
してあげるから
どうかほを
信じてね♡いん

おうち
かえるツ



ああんツ

あ♡

吸ってれば
そのうちミルク
出るようになる
かなあ?

ズンズン

おっぱいも
ぷりっぷりで
♡むっちゅ♡
ううう♡



そんなワケでさ
僕はジャグラク
これからヨロシク
ねえ♡

ムムム

むちがうう〜

ひいひいイ...

少年に捕まえられた
哀れなピクシーの
監禁生活が幕を開けた。



おーよかった
ちゃんとしてる♡

彼女は銅製の小型の
物入れにて飼育された。
もっとも飼育といっても

日中は逃げられぬように
口をふさがれ
磔にされ

少年の帰宅とともに
拘束がほどかれ、深夜には
また拘束され放置という
囚人のような扱いであった。

毎日縛っちゃって
ごめんね！今日も
うね♡ ばい遊ぼ



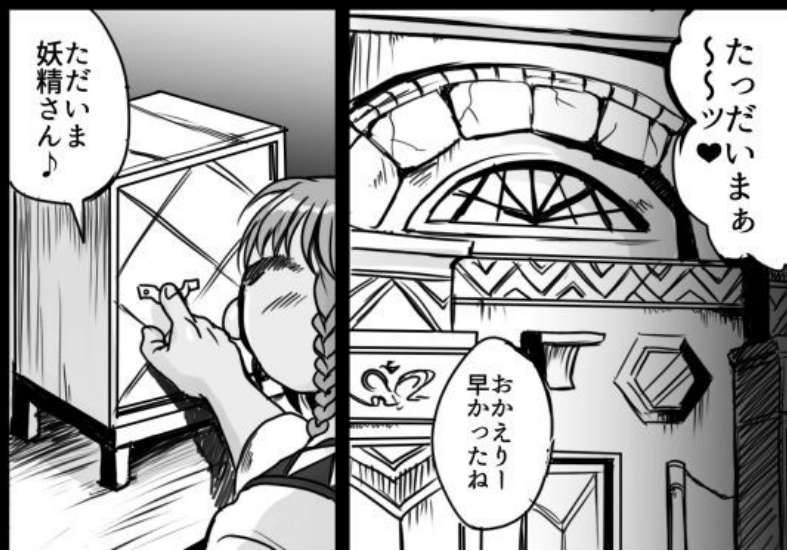
あーうん
親父の手伝い
頼まれててさあ
また明日遊ぼう
じゃあねッ

なんだラック
もう帰んの？
街に出ねえのか？

やんちゃ坊主だった
彼はフェリークスを
捕まえてから
大人しく帰路につく
ことが増えた。



ちえっ 最近
付き合ひ悪いなあ



ただいま
妖精さん♪

たっだいまあ
♡

おかえり！
早かったね



最初のうちこそ思春期の少年よろしくこの丸みを帯びた肉体の柔さを楽しみ警しい香りを堪能する程度だったが

ある日のこと

あ…

あ…んツ

あ…んツ

すーはー

すーはー

やだあツ

不思議だよきみの身体を揉んだり匂いを嗅いだりしているとどういふわけか心が落ち着くんだよねえ♡



なんか…いつもと声が違ってエツチになってるような…

おっぱいの先っぽつままれるの気持ちいいの？じゃあこれなんかどう？

乳頭を抓んだ際に、ふと彼女の口から漏れ出る甘い吐息と

彼は彼のなかの興奮のより深いスイッチが押されたような感覚を覚えた。

艶めかしく腰を仰げ反らせる姿を目にしたとき

アツ…

あ♡

ぎゅ

あ…んツ

あ…んツ

は…

む…♡

くり♡

くり♡

あ…んツ

くり♡

くり♡



うっひょおおろろ!!
やほっ♡これちんちん
しんごの気持ち良すぎ
ツツツ!!

いやああツツツ!!
そんなものこすら
ないでツツツ!!

すげッ♡

かめな
ナニツツ!!

少年は己の欲望に忠実に、
容赦なくその青い性欲を、
小さな肢体にぶつけた。

あーやば

カメナ
ナニツツ!!



ドクッ

ドクッ



おふり♡

ほっ♡

妖精さん
気持ち良すぎ
♡♡♡

もうイッ
ツツツ♡

こゝこれ気持ち
良すぎツツ...
...なんだコレ...
はっ...
...ああ

毎日舐められ
不躰な臭気を嗅がされ
汚物を放射され性欲の
はけ口にされる

うへへごめんね
勢いあまって
めちやくちや
ぶっかけちゃった
...大丈夫?

もう
やだあ...
おはなはたけ
かえろ...
ひくひく

少女にとつて
耐え難い苦痛の
連続でしたか

そんなに
泣かないでよ
ごめんって
ばあさん
でも君の身体
この世で一番
気持ち良かった
よお

思春期の少年の女体への興味と
危険な好奇心はとどまる
ところを知らなかった。

今日はこの
クリアケースに
入って
もらうよ

時としてその純粋さは
残酷性を帯びたものと化し
フェレニースに牙をむいた。

じゅん

帰りにいろいろ寄り道して
インプ見つけたんだよね！
今日はこいつとせうくす！
してもらおうよ

ビク！

一昨日さあ 保健の授業で
どうやったら女の子に子供が
できるかっての習ってさ
それから僕の頭から
授業内容が全然離れなくて
困ってたんだよね

実際にやる
ところを想像したら
どくにもコーフンが
おさまらなく
なっちゃって...

で、どうにかして
ナマでそれを見れない
かなって考えたときに
「きみがいるじゃん!!」
って思い出したんだ
わけて！



フェレニースは凍り付いた。

このインプという生物は極端な寒冷や灼熱の地ではない限り帝国内外で見られるが

彼らは雑食性で長い槍や長刀を操る知能を持ち、自らと同じ背丈の小動物を狩りそれを糧にする。

もちろん獲物にはピクシーも含まれ単独で奇襲攻撃をししかけては確実に仕留める悍猛なハンターである。



さあてどんな面白いものを見せてくれるかなあ

この捕食者の習性をつゆほとも知らない少年は

ピクシーの檻に暴君を放り込んでしまった。



や...やめてこないで...



放り込まれたインプはこそしなかつたが

憐れフェレニース

あま...あま...あま...

末通娘の初々しい秘所は暴君によってあつという間に破られてしまった。

あつ♡おま○ここにちんちん入つてる！ちやんと妖精さんにほろあぎなうって付いてるんだねえ！

小さすぎてどこにあるか全然わからなかったよー！

逃げ場も助けもない狭い空間でか弱い妖精はなす術もなく

この暴君により与えられる容赦のない責め苦をただその身で受け続けるほかなかった。

痛い痛いよおっ

グウエストーンさ…だずげでええつ…

はええ、せつくすつてこんな風にやるんだねえ…ちよつと意外

少年は二匹の交尾の様子をケース越しに興味深そうに眺めた。

おま○ここにちんちんさえ突つ込めばいいのかな??

つていうか妖精さんさつきからずと押され気味じゃん！

大丈夫？もつと頑張つてインプなんかには負けちゃほらっつ…

まるで自由研究のために捕まえた昆虫の行動習性を観察するかの如く



え？まだやるの？
妖精さんだけど死に……

びゅん……



やっ面白いモノ
見せてもつたよ
なんだがねえ！

妖精さん体力なさ
すぎだよ！もつと
ちやんと鍛えなきゃ！



思春期の少年は
あの手この手で
ピクシの肉を
隅々まで知ろうと



そこを刺激すると
めちやくちや気持ち
いいらしいんだ
けど……

どうやら君の
おま○この上に
クリトリスっていう
凄く小さい豆粒
があるみたいで

あ！

どう？
気持ちいい
かな？

機械技師の息子である
少年は彼自身も工作や
電気系統に詳しく



ねえ
妖精さん

僕あれから気になって
女の子の身体について
図書館で調べたん
だけども……

ああ

んみっ？

ただいま
妖精さん！

やがてフェレニースは少年の
開発した様々な機械によって
毎日朝から夕方まで
連続強制絶頂を体験させられた。

彼は以前ゲウエストンがこの地に
密輸したコアを入手し
これを利用して半永久的な動力を
兼ね備えたピストンマシンを開発し
スイッチを入れたまま半日にわたり
彼女を放置した。

監禁から十日以上も
経過する頃には妖精の
ありとあらゆる性感帯が
調べつくされていた。

帰り遅くなって
ごめんね今日
補習が長引い
ちやつてさあ

絶頂のたびに分泌された
愛液・潮や尿は
くり抜かれた臀部の下の
カップに全て流れ

少年が帰宅するころには
毎日決まって溢れんばかりの
体液が溜まっていた。

おおおっ今日も
おま○こ汁こん山
溜まってるぞうね
イツたんだらうね

さてカップの
ほうは...

陰核への振動と連動
しておこなわれる
ポルチオへの容赦の
ないピストン運動は
彼女の肉体に毎秒の
絶頂を習慣づかせた。

でもそのぶん長いこと
おま○こ突いてもらえて
良かったでしょ？
きみこれ好きだもんね



ごちそうさ...あれっ気絶してるに大丈夫に

妖んっ♡やっば
甘ん♡お汁は
あくて♡美味し
な♡♡♡



それじゃく満を持してっだっきまあすっ♡

既に快樂の渦潮に捕らえられきつたフェレニースかと思われたが



妖精さんこらっ

あっコラッ

沐浴のさい一瞬の隙をつきシヤグラックから逃げ出した。



はま...はま...はま...はま...はま...



逃げたッ

彼女の仲間はまだまだ強く残っていたのだ。

後ろを振り返ることもなくがむしゃらに飛んだ。海の方こうにある故郷ヘスセスフォルト州サレオンそれ一点だけを目指して.....



しかし



もどつて来いッ
あッあッあッあッ
あッあッあッあッ



く...っそ

はあっはあっ

手がぐずらせおやがってよお

少女はレッドスパイダーの巣に捕らえられていた。

彼女の飛行能力は日々の実験による拘束のために羽に開けられた無数の釘穴によって大幅に衰え

あと一步で餌にならんとしていた。

どうせこうなることはわかってたのに...



よくも逃げ出してくれたよね...

ご主人様...に逆らったらどうなるか

ちゃんとしてるんだろうねえん



ううう

少年の怒りに触れた彼女は一向に動かぬピストンマシンの上に五日間放置され

きみがイキたいばかりに嘘の忠誠をしているかもしれないからな

しませんッ

もうご主人さまから逃げたりさからつたりせつたいにしませんッ

ご主人さまの命令ならなんでもききますッ

もう...もうゆるしてくれるの...? スイッチ入れておまこいっばい...? いじめてくれるの...?

よろうどうしよつかないア

おっけー... じゃあ

ご主人様...

そこまで言うならさみの忠誠心を見せようかな

現在に至るのだ





シヤケラックに
命令されたたん

一所懸命ご奉仕してる時
必死にパタパタしてるの
滑稽で可愛いんだよね♡

前に逃げ出したときに
羽根を全部切っちゃおう
とも思ってたけど切らなくて
正解だったね♡

条件反射のように
彼のペニスに飛びつき
夢中で腰を振った。

はぁ!!

ムニニニ

んむニニ

たんた



で...でも見たこと
ないくらい夢中で
抱きついてるね♡
すごく情熱的...

んほおっ♡



あははっ♪そんなに
がつついて抱きつかなくても
ちんちんは逃げないから
安心してよ♡

そんなカリ裏
までつつ♡

んむニニ

あああ♡
五日分の僕の
チンカスが綺麗に
舐め取られちゃう

はぁ♡



ここまでのしなやか
なら五日間は辛かつ
たのかなあ♡♡♡

し：信じられない
ぐらいに積極的
じゃんツツ：♡

あはあ♡そのおっぱい
マツサージたまんない♡♡



あつやば
気持ち良くて
我慢汁が♡



おまんこ♡♡♡
妖精さん♡♡♡

おおっ♡

激し♡



あちゅう僕の
初めなんに
だに反がるの

僕自身も五日間
ずつとオナ禁
してたもんだから
うよっ興奮しちやから♡♡



だ

む

んんんんん



いきたくていきたくて
たまらなかった。



熱れ切った肉体を放置され
続けた彼女の理性は
とうに限界を超えていた。



一刻も早く射精させるため
彼女に形振り構う余裕はないのだ。

少女は誠意を見せるため
ご主人様の睾丸をばね替わりに
踏み込み、たっぷりとした股体で
夢中でご奉仕した。

じん

じん

たむ

たむ

たむ

たむ

たむ

たむ



んおお♡
イグイグつつ♡
んひいいイ♡
まらイグツツ♡

イギすぎで♡
しんじやうう♡
ううううう♡

わおわおわお♡
わおわおわお♡

どめでえええ♡
う死しぬ♡
うツツんじや♡
グググ♡
グググ♡
グググ♡

のごめんよ五目ぶり
精液射精で玉袋に
よおぎ溜るんだら

おぶう♡
おぶう♡
おぶう♡
おぶう♡

ああッ♡
また出る♡
ああッ♡
ああッ♡
ああッ♡

「おあすけから解放された
フェレニースは短時間で
実に二百回以上の連続絶頂を
経験し

シヤグラック自身も
実に八回もの
射精をおこなった。

牽丸が空になる頃 彼の目には
度重なる絶頂の果てに
満足げに気を失い 痙攣する
あわれな妖精が映し出され
ていた。

お疲れさま♡
僕も妖精さんが
エッチすぎて
8回も射精し
ちゃったよ…♡

んふう♡
最後の一回♡
るるる

はーはー



いや彼女の姿は最近
全く見ていないね
ここに飽きて他の家に
行ったものかと思っ
ていたよ

君達の所にも
全く帰って
きていないと
いうことかい？

そうなんだ

収穫月36日に
グウェストンさん
の家に
行くと言
い残り
してそれ
っきり

何か手がかり
だけでも掴め
たら
って思っ
たんだ
けど……

その頃
サレオン



グウェストンさん
いるー!?

こんにちは!
聞きたいこと
があるん
だけども!

最近フェレニース
ここに
来な
なかつ
た?
全然姿
が見え
なくな
って
心配
なんだ
よね



まさか……



先月30日
……と
言えば

あの日は
ノーゼガル
ク湾
から
ドーン
ソル
ヴァ
に
付
呪
品
を
転
送
し
た
日
だ
っ
た
な
そ
の
他
に
は
特
に
予
定
は
な
か
つ
た
が……

はてさて
……



おかえりー

ふんふん
ふんふん

たっ
たっ
だっ
だっ
い
ま
あ



さね
グ
ウ
エ
ス
ト
ン

私この大陸
に行っ
て
みた
く
な
つ
た
わ
!
あ
な
た
が
連
れ
て
い
っ
た
よ
!
!

妖精さん
ただいまあ♪

身体の具合は
どうかな
寒くしてない？

ごはんの
時間だよ♪

日に日に大きく
なつてんね
ちゃんね
栄養つけとか
ないんだね！

でも三日でここまで
大きくなつちやつた
のにはビックリだね

僕まだもうすぐ
自分がパパになる
って実感が全然
湧かないんだけど
……



これがもし
ドワーフの女子を
妊娠させちゃつて
いたらと思うと
ゾツとしちゃうけど

ふにゃふにゃ

君ぐらいの小さい
子供なら
どうにか育て
いけそうだよ♪

男の子かな
女の子かな♪

どっちでもいいけど
女の子なら君と同じように
もつちもちぶにつぶにの
とつても可愛い子なんだろう
なあ♪

みんなを幸せな
家庭を築いて
いこうね♥

たろっ

とん♡

とん♡

フルフル



子供を産みすぎて、その都度母乳を分泌しすぎて乳房がずいぶん肥大化してしまったフェレニース。夫であるジャグラクのペニスをこ奉仕する方法を子供たちのまえて披露する。

釘を打ち付けられた羽は全く修復されず、著しい体重の増加が原因で、もはや自力での飛行は不可能に。美しい虹色に輝くピクシーのアイデンティティは、もはやただの飾り物と化した。

……そんな感じで、完成版はフェレニースはもちろん、子供たちも男女交えて大乱交&パパへの大人数でのご奉仕といったカオスを前面に出した作品になると思います。よろしくお願いたします！



Pherenice フェレニース

ヘルセスフォールト州サレオンそばの花畑に住む20センチ程度のピクシー族の妖精。
好奇心旺盛で、後先を考慮することがあまり得意ではないようです。

作中で触れる描写はしていませんが、花畑の女子のなかでも可愛らしく男子からの人気も高いらしいです。しかし、故にややわがままな性格で自分の思い通りにならないことや気に入らないことがあると「ぶきゅっ！」と膨れるので、見る人によっては彼女にイライラするかもしれません。

街に住むハイエルフの青年グウェストンが好き。



Kzyagrac ジャグラック

ドーンゾルヴァ王国の街に住むドワーフの少年。両親と3人暮らし。
愛称はラック。

よく学校の友達としょうもない悪さをするようなやんちゃ坊主ですが一方で機械製作を得意とし、自分のアイデアを具現化するために工房で熱心に製作に取り組む集中力も持ち合わせているようです。

とはいっても、中身は思春期の少年なので女の子には興味津々。
フェレニースをいたぶる際も自分に「対象をいたぶっている」という感覚がないため、ややサイコのケがあるかもしれません…。



Gweston グウェストン

サレオンに住む符呪師のハイエルフの青年。教師でもあり、生徒たちに変性学術を教える他方で、副業として作成した符呪品をファルゴー大陸のドワーフたちに密輸しています(違法です)。
まさかフェレニースがそこまで賢くない生物だとわからずに外の世界を教えてしまいました。

余談ですが、符呪品の国外輸出やエルフ種以外の生物に貸与・譲渡・売却することは原則例外なく違法であり、足がつけば重い刑事罰が下されます。エンチャント物は個人製作品であっても、厳重な管理が必要とされています。
同様に在来種の国外への輸出ももれなく逮捕されます。
物語の後半は、かれがフェレニースを探しに行くパートもあります。

- ◆当書籍の18歳未満の購読を禁ず。
- ◆当書籍の本文のインターネットへのアップロードおよびそれに準ずる行為を禁ず。
当サークルは2016年初頭に起きた違法アップロード事件を機に、担当弁護士の方を通して兵庫県警に被害届及び告訴状を提出しております。
当サークルは当該行為に対し、非常に厳しい措置を講じておりますことをご理解ください。

- ◆Do not subscribe to this book under the age of 18.
- ◆I forbid uploading and sharing the contents of this book on the internet.
Since my work was illegally shared in 2016, I have filed a complaint against the criminal with the Hyogo police through my lawyer.
I'm having very strict measures against this act. Please fully understand this.
(It doesn't matter whether the accused is Japanese or foreign.)

後半のストーリーは、この作品が違法アップロードされなければ2年以内には発売されるはずです。

The second half of the story will be released within two years if this work is not shared illegally.